

第 54 回全国消防救助技術大会に係るロゴマーク等制作業務仕様書

1 業務名称

第 54 回全国消防救助技術大会に係るロゴマーク等制作業務

2 履行期間

契約締結の日から令和 7 年 9 月 30 日まで

3 業務内容

ロゴマークとは、スローガンとシンボルマークを合わせたものとし、次のとおり作成すること。

- (1) 委託者が提示するスローガンに基づき、参加隊員など消防関係者を意識したロゴマークを作成すること。

ア スローガン

毘（たす）ける ―とともに、まだ見ぬ新時代へ―

【コンセプト】

○「毘（たす）ける」

- 1 要救助者が災害現場で消防隊員に言われて安心する言葉を考えたときに、「助ける」という言葉が最初に浮かんだため、メインタイトルにした。「助ける」を「毘ける」に変換したのは、毘は新潟県を代表する戦国武将、上杉謙信の旗印から引用し、新潟らしさを表現した。
- 2 謙信が戦の神様である毘沙門天の頭文字から引用していることから、大会に参加する隊員が今までの訓練の成果を存分に発揮できるようにと願いを込めた。
- 3 謙信の義を重んじて戦う姿（敵に塩を送る等）から、助けを求める人たちのために敵味方を問わずに公平に助ける姿は消防士と重なるところがあると考えた。

○「―とともに、まだ見ぬ新時代へ―」

- 1 半世紀以上続く救助大会の歴史の中で、今回、本州日本海側で初めて開催となることから、開催都道府県に新潟県が名を連ね、歴史の一員となるという高揚感を感じるようにした。また、「新」とつけることで、初開催という雰囲気が出て、他の都道府県との差別化を図った。
- 2 参加する隊員のみならず、準備に関わった人、陰でサポートした人、全ての人達（家族、先輩、観客、大会関係者等）と「ともに」創り上げる、「ともに」まだ見ぬ新時代を目指す大会という意味を込めた。
- 3 「まだ見ぬ新時代へ」は、もうここが限界（新時代）、最新鋭だと思

っていても、時代が経過するとともに、さらに救助技術力等も進化していかなければならないので、この大会を通じ、新時代のさらにその先に進んでほしいとの願いを込めた。

イ シンボルマークのイメージ

- (ア) 消防救助の技術の高さ、消防救助隊員の逞しさや強靱さ、優しさをアピールできること。
 - (イ) 消防救助隊員としての誇りや使命感、強固な意志を感じられること。
 - (ウ) 市民の目線に立った未来志向の大会を感じられること。
 - (エ) 新潟市や新潟県の歴史、文化、自然、ゆかりのある人物など新潟らしさを感じられる要素を取り入れること。
- (2) イラストレーター (AI 形式) に加工したロゴマーク及びシンボルマークのデータを納品すること。
- (3) 過去大会のロゴマーク及びスローガンについては、仕様書別紙「過去大会のロゴマーク及びスローガン」を参照すること。

4 使用用途のイメージ

- (1) 広報紙、ウェブサイト、SNS 等での広報活動
- (2) 各種広報物 (ポスター、チラシ、パンフレットなど)
- (3) 大会記念品
- (4) その他大会の PR につながるもの

5 著作権

- (1) 受託者は、ロゴマーク及びシンボルマークが第三者の著作権を侵害しないことを保証するものとする。
- (2) ロゴマーク及びシンボルマークの著作権は、委託者及び一般財団法人全国消防協会に帰属するものとする。
- (3) 委託者は、ロゴマーク及びシンボルマークを加工及び二次利用できるものとし、受託者はこれに同意し、著作者人格権を主張しないものとする。
- (4) 第三者からロゴマーク及びシンボルマークに関して著作権侵害を主張された場合の一切の責任は、受託者が負うものとする。

6 実施に関する条件

- (1) 業務の方針、内容及びスケジュール等について、委託者と協議を行った際はその都度内容を受託者が記録し、相互に確認すること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項及び本業務に関して疑義が生じた場合は、双方が協議して定めるものとする。

7 再委託の制限等

- (1) 受託者は、本業務の全部若しくは一部を第三者に委託又は請け負わせてはな

らない。ただし、本業務の一部であって、本業務の性質上特に委託者がやむを得ないと認めた場合は、この限りではない。

- (2) 受託者は、上記ただし書の規定により本業務の一部を第三者に委託しようとするときは、あらかじめ、委託者に対して書面で再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、住所、委託する業務の範囲、再委託の概算金額、その他再委託先に対する管理方法等必要事項を報告し、委託者の承諾を得なければならない。
- (3) 受託者は、上記（１）、（２）の規定により本業務の一部を第三者に委託した場合、委託者に対し、当該委託に基づく当該第三者の受託に関する全ての行為について責任を負うものとする。

8 その他

- (1) 受託者は、関係法令を遵守し、誠実に業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、本業務の実施により知り得た情報を他に漏らしてはならない。
- (3) 本業務の履行においては、新潟市が運用するグリーン調達推進方針に準じ、環境負荷の低減に努めること。
- (4) 受託者は、本業務の遂行上において、受託者の責めに帰すべき事由により、委託者又は第三者に損害を与えた場合には、その一切の損害を賠償しなければならない。

9 担当

第 54 回全国消防救助技術大会等実行委員会事務局
（新潟市消防局企画人事課内）

過去大会のロゴマーク及びスローガン

第52回【千葉】		
魅せろ ～I CHIBA Nへの挑戦～		
要救助者を1番に思い救助活動にあたる隊員たちの熱い戦い。「安全・確実・迅速」を極めた隊員たちが全国各地から集まり、千葉県で『1番』を目指す。洗練されたその技を千葉県で魅せてほしいという思いを表現した。		
第51回【札幌】		
TOP OF RESCUE ～北の大地での挑戦～		
全国消防救助技術大会を通して、各隊員が救助技術の頂点を目指す熱意あふれる志と、17年ぶりに北の大地・北海道札幌市で開催されるということを表現した。		
第50回【東京】		
RESCUE SPIRITS		
※コンセプトについては記載無し		
第48回【岡山】		
勇鬼 ～桃太郎のまち岡山から新たな伝説を～		
全国の各都市で安心・安全のため、鬼気迫る様子で訓練に励む救助隊員を鬼になぞらえた。		
第47回【京都】		
『駆』 ～その日、みんなが"HERO"になる～		
使命感を持ち、1秒でも早く、要救助者の元へと駆けつける、全国の消防救助隊員の熱い志を「駆（かける）」の一字に込めるとともに、当日は、出場隊員だけでなく、支え励ました家族、切磋琢磨した同僚、指導に当たった上司、応援に駆けつけた市民、そして大会運営に携わった人々の全てがヒーローになる大会を目指したいという思いが込められている。		